

平成27年5月8日  
独立行政法人水資源機構  
沼田総合管理所

平成27年5月4日 融雪・前線に伴う出水で  
やぎさわ ぼうさいそうさ  
矢木沢ダムは防災操作を行いました

防災操作により矢木沢ダムに約28万<sup>3</sup>m<sup>3</sup>を貯留

矢木沢ダム流域では、5月4日21時頃から5月5日1時までの累計で9mm（矢木沢ダム）の降雨量を観測しました。

この融雪及び降雨によってダムへの流入量が増えたことにより、4日23時50分に流入量（最大で毎秒約118立方メートル）が洪水量に達したため、防災操作を実施しダムに約28万立方メートルを貯留しました。

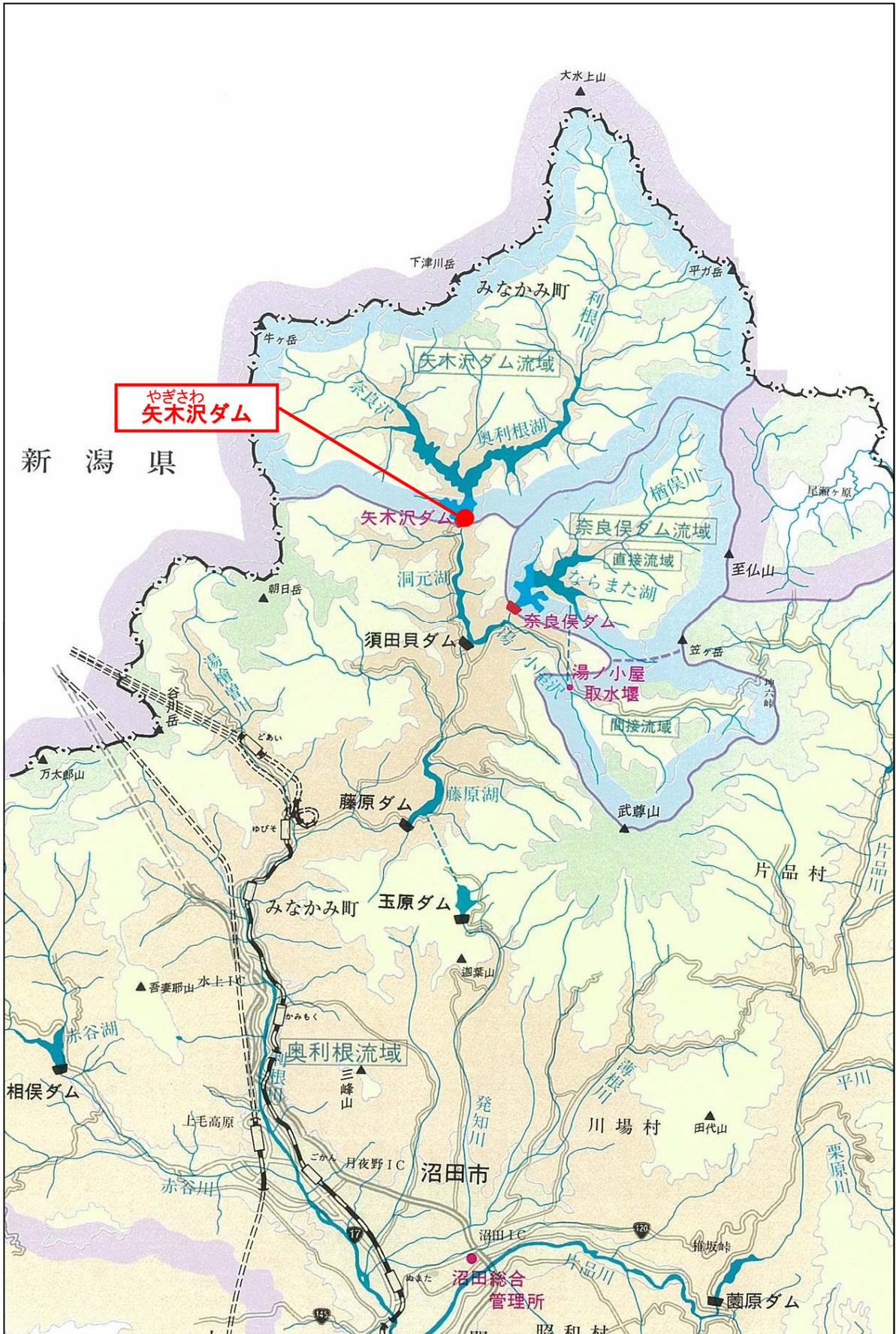
今後も、矢木沢ダムでは適切に防災操作を実施し、下流地域の洪水被害の防止・軽減に努めていきます。

ぼうさいそうさ

※防災操作とは、降雨等によりダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流れ出す量を減らし、下流の川の水位を低減させることです。

注) 数値は速報値です。

■位置図



■ 矢木沢ダムの防災操作の状況図

